One and Only Creator

2014年３月期
決算説明会

2014年６月５日

リバーエレテック株式会社

アジェンダ

1．2014年３月期 決算概要

2．2015年３月期 通期業績予想

3．変革に向けた今後の取り組み

代表取締役社長　若尾富士男

取締役総務本部長　高保　譲治

2014年３月期決算概要

取締役総務本部長　高保　譲治

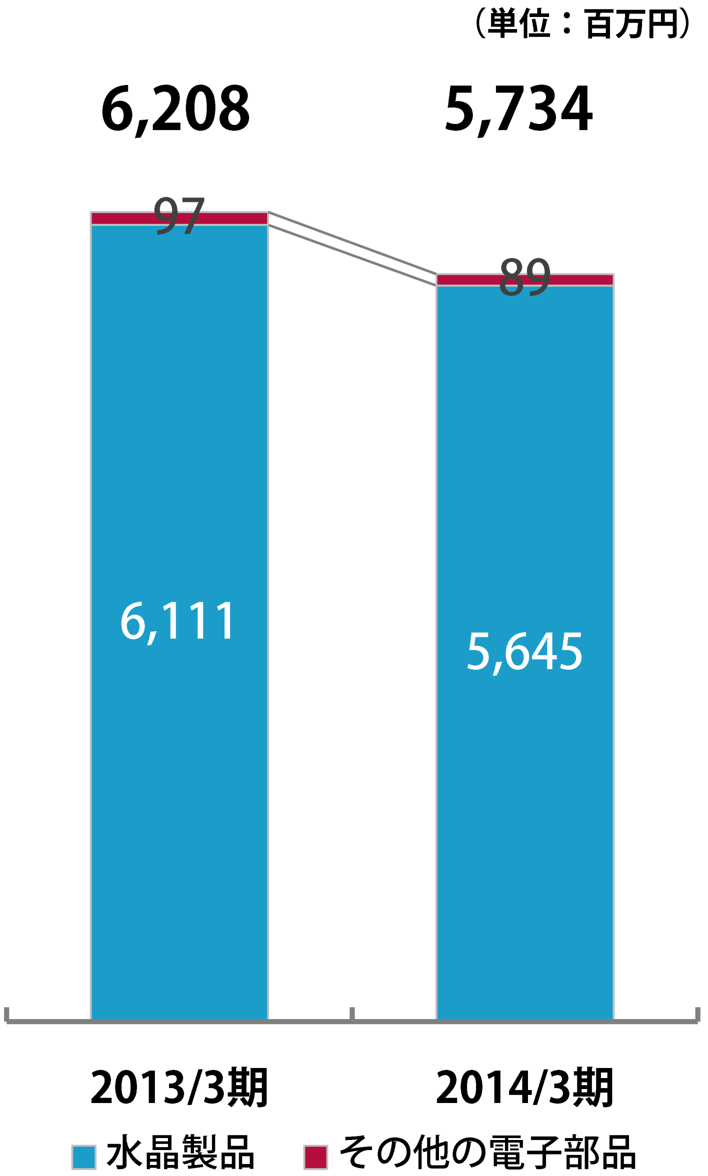
2014年３月期 決算概要

RIVER
One and Only Creator

（単位：百万円）

	'13/３実績	期初予想（'13/05/10）	'14/３実績	対前年増減額	対前年増減率
売上高	6,208	6,806	5,734	△474	△7.6%
売上原価	4,899	―	4,757	△142	―
販管費	1,305	―	1,297	△7	―
営業利益	3	118	△320	△323	―
経常利益	134	96	△177	△312	―
当期純利益	112	83	△236	△348	―
ＥＰＳ	15.21円	11.34	△32.11円		
為替レート（対USドル）	86.58円	93.00円	105.39円		

売上高変動要因



■ 水晶製品

（対前期比△465百万円）

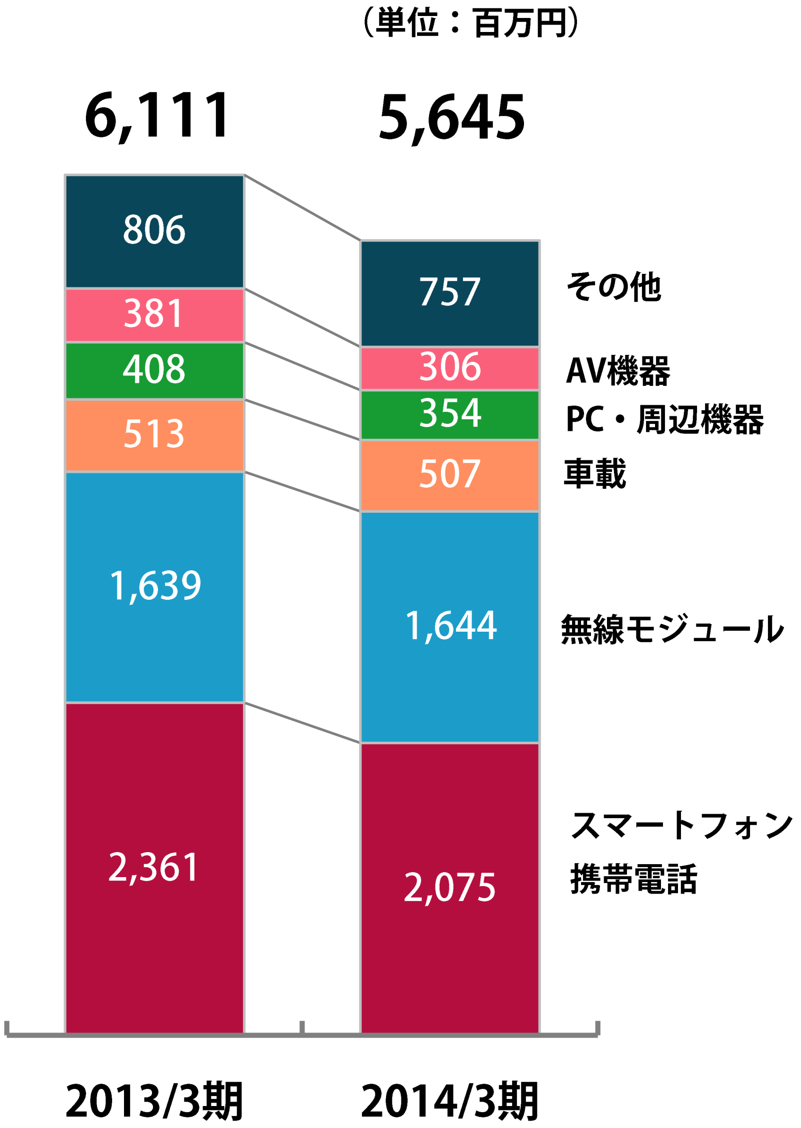
平均販売価格の下落、スマートフォン向け及びデジタルカメラ向けの伸び悩み

■ その他の電子部品

（対前期比△8百万円）

平均販売価格が上昇するも、事業縮小に伴う販売数量が半減（インダクタは生産終了）

アプリケーション別売上高（水晶製品）



■主なアプリケーションの状況

スマートフォン・携帯電話向け

販売数量、販売価格ともに前期比マイナス

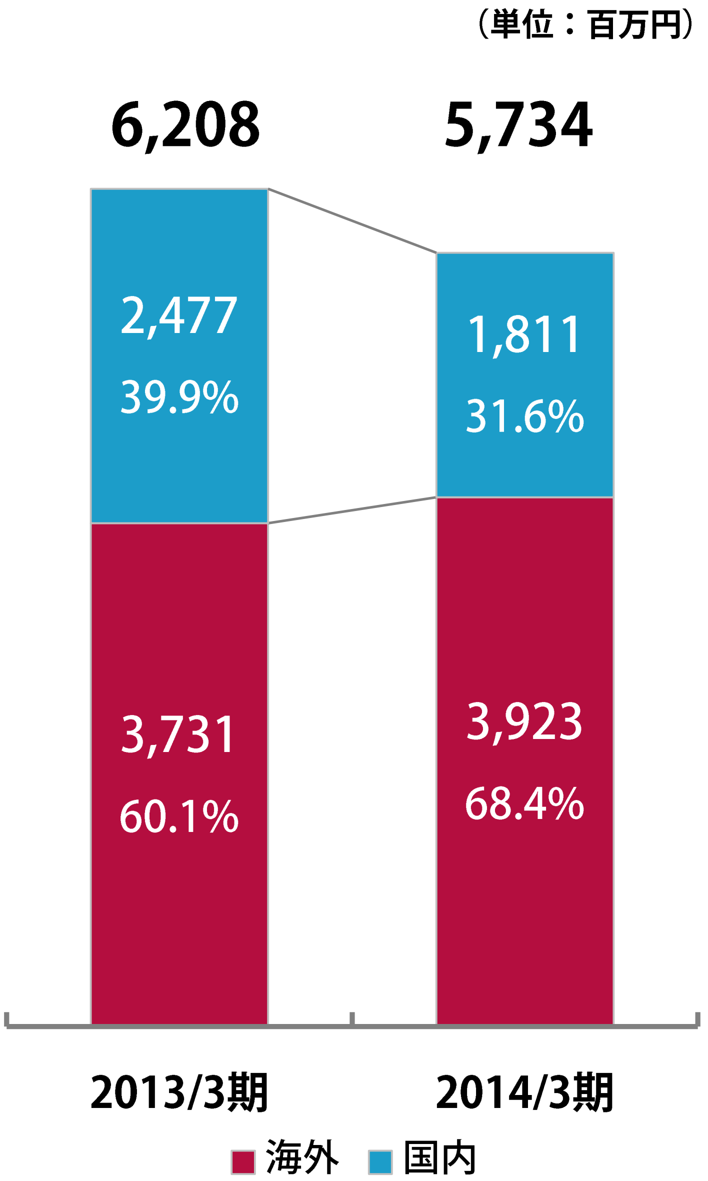
無線モジュール向け

価格競争が厳しいものの、車載向けが好調で販売数量が増加

ＡＶ機器向け

オーディオ関連が好調もデジカメ市場縮小の影響から販売数量が減少

海外売上高



■ 海外売上高

（対前期比 ＋192百万円／＋8.3pt）

スマートフォン、AV機器向けが好調

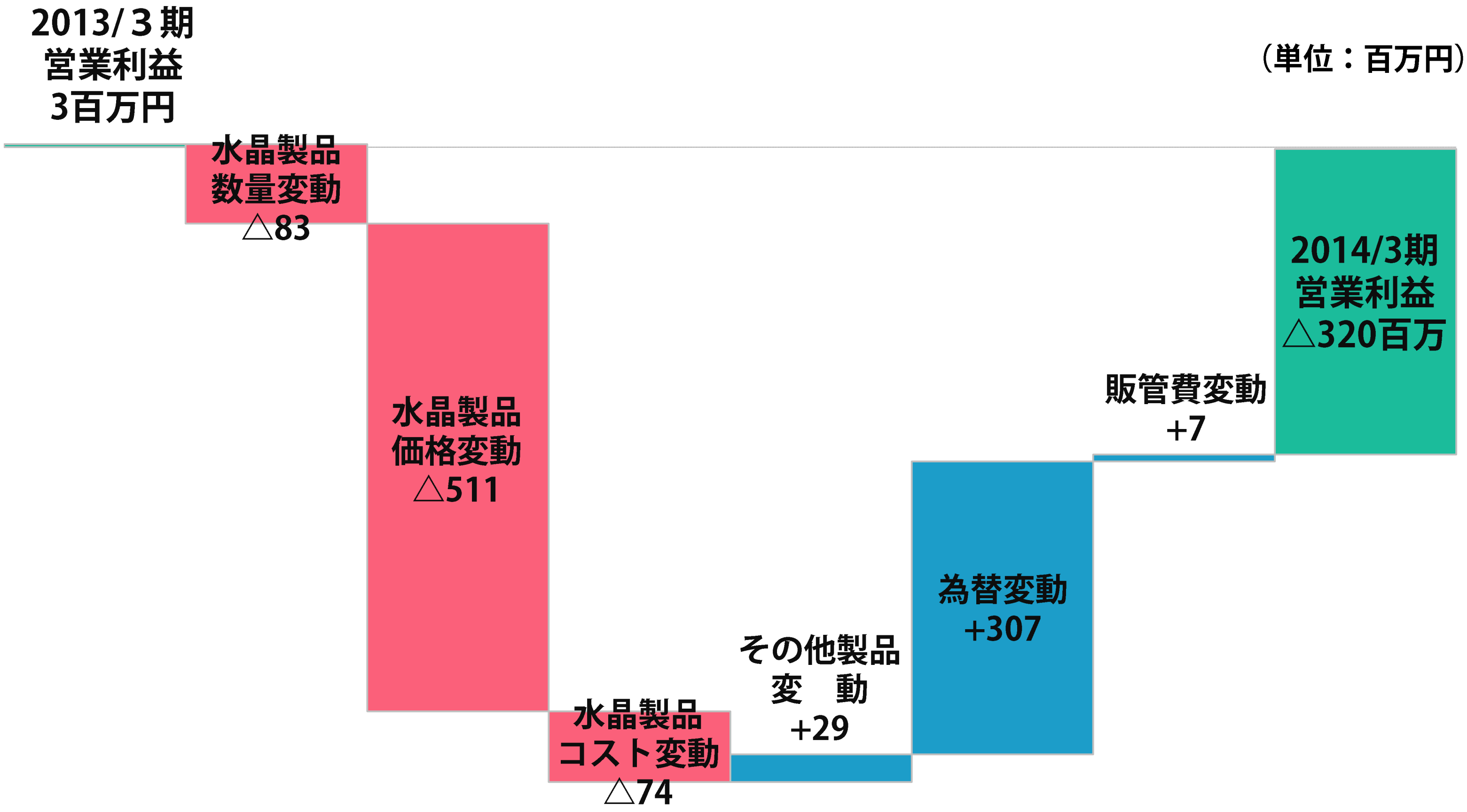
■ 国内売上高

（対前期比 △666百万円／△8.3pt ）

スマートフォン向けが不振

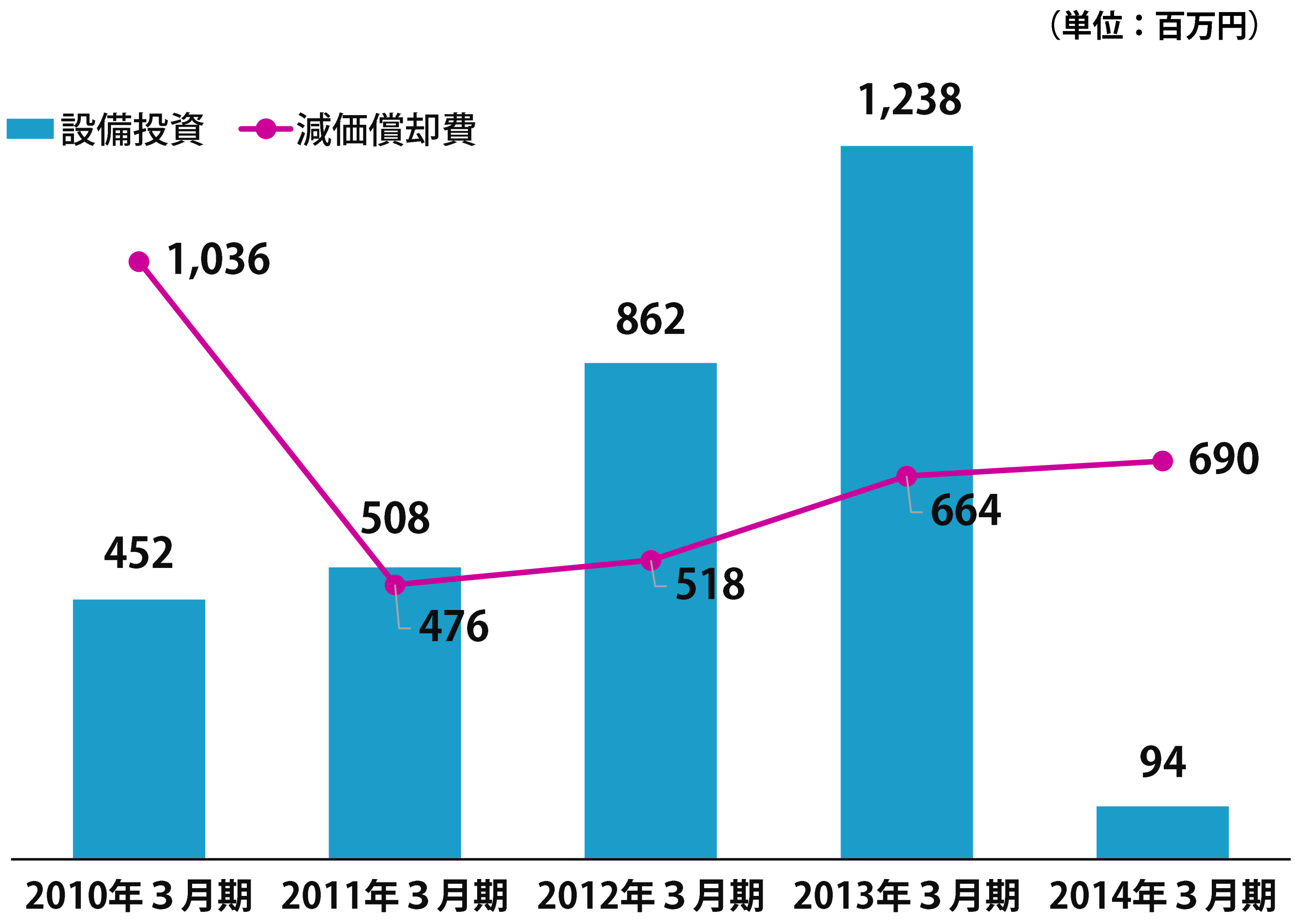
営業利益変動要因

▶ここ数年は、価格の下落を販売数量の確保とコスト低減でカバーしてきたが、当期は思ったように受注数を増やせなかった

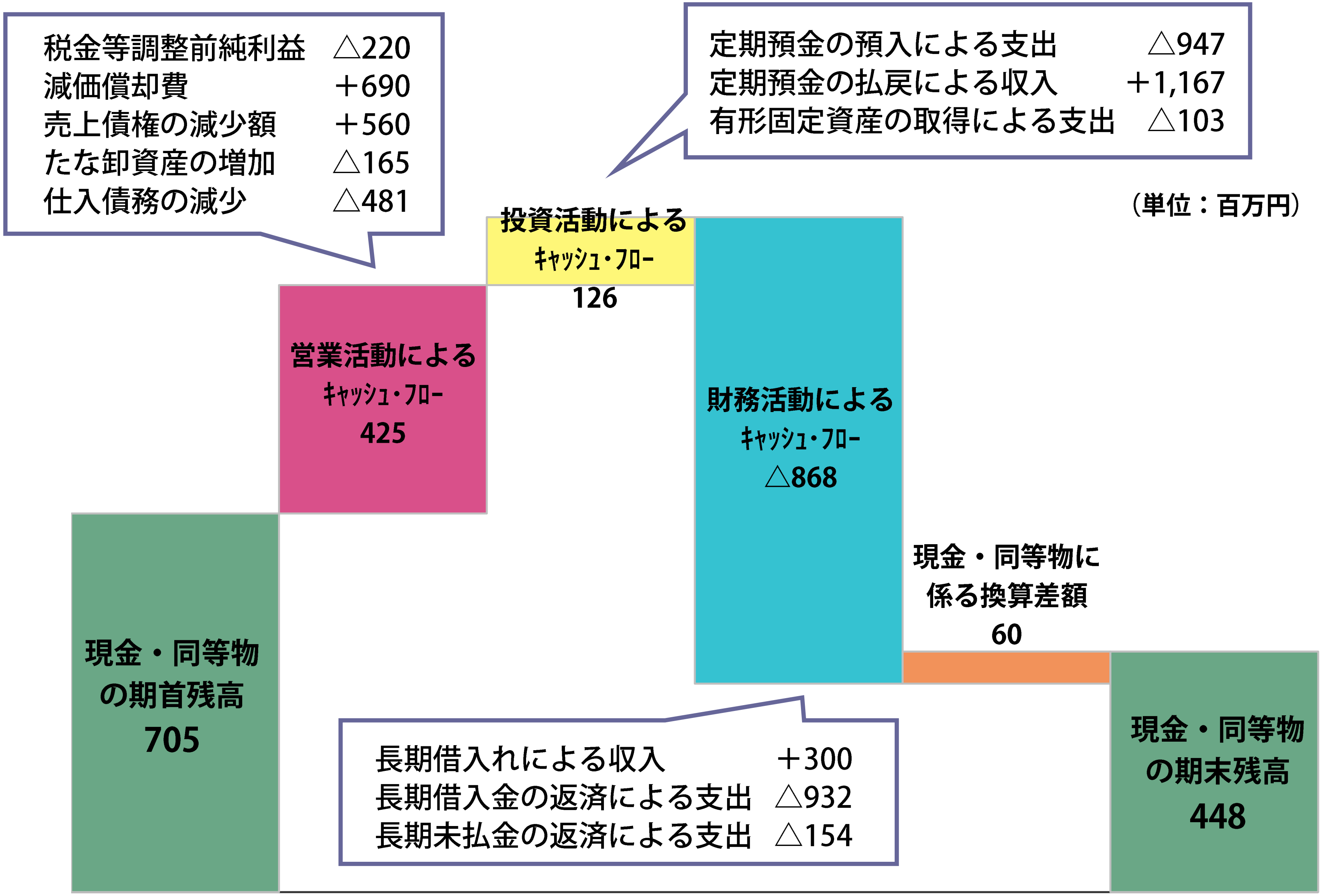


設備投資及び減価償却

▶2013年３月期の反動もあり、新規投資は最小限に圧縮



キャッシュ・フロー



税金等調整前純利益 △220
減価償却費 ＋690
売上債権の減少額 ＋560
たな卸資産の増加 △165
仕入債務の減少 △481
定期預金の預入による支出 △947
定期預金の払戻による収入 ＋1,167
有形固定資産の取得による支出 △103
（単位：百万円）
投資活動による
キャッシュ・フロー
126
営業活動による
キャッシュ・フロー
425
財務活動による
キャッシュ・フロー
△868
現金・同等物に
係る換算差額
60
現金・同等物
の期首残高
705
現金・同等物
の期末残高
448
長期借入れによる収入 ＋300
長期借入金の返済による支出 △932
長期未払金の返済による支出 △154

RIVER
One and Only Creator

2015年３月期 通期業績予想

代表取締役社長　若尾　富士男

事業環境と業績見通し

RIVER One and Only Creator

▶市場環境

■世界経済は新興国に減速感あるも先進国主導で緩やかな景気回復基調

■スマートフォン市場は中国向け、ローエンドモデルがけん引し成長を持続

■為替はウクライナ情勢などの不安要素あるも、中期的には円安水準を持続（計画レートは１ドル103円）

▶業績見通し

■減収増益を予想（第１Ｑが底と見ており、上期については減益予想）

■スマートフォン市場はこれまでターゲットとしてきたハイエンドからミドルエンドへ販売を拡大

■超小型の製品（1610サイズ、1210サイズ）のウェアラブル市場等へ拡販し、収益力アップを目指す

■コスト競争力を強化し、利益の確保に努める

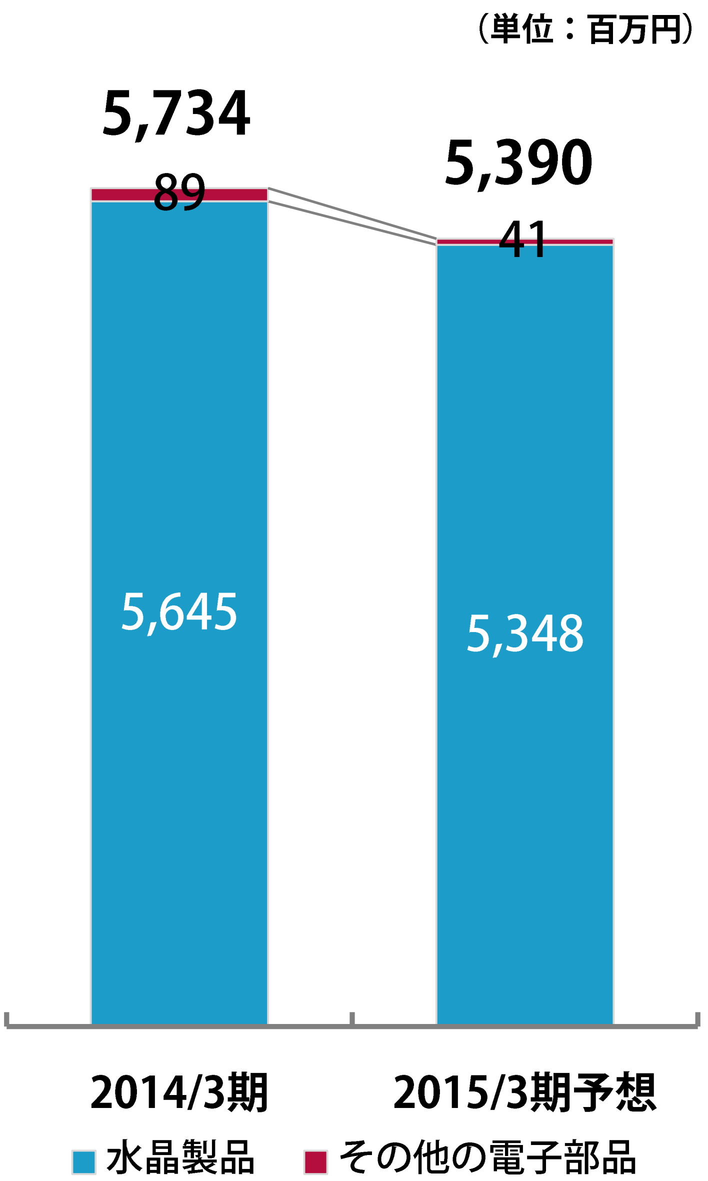
2015年３月期 通期連結業績予想

（単位：百万円）

	2014年３月期 実　績	2015年３月期 予　想	対前年 増減額	対前年 増減率
売上高	5,734	5,390	△344	△6.0%
営業利益	△320	29	349	―
経常利益	△177	5	183	―
当期純利益	△236	14	250	―
ＥＰＳ	△32.11円	1.92円		
為替レート（対USドル）	105.39円	103.00円		

2015年３月期 セグメント別売上高

RIVER
One and Only Creator



■ 水晶製品

（対前年比△297百万円）

新規受注予定のずれ込みによる第１Qの立ち遅れとスマートフォンのミドルモデルへの拡販による価格低下の影響もあり、前期比5.3%減

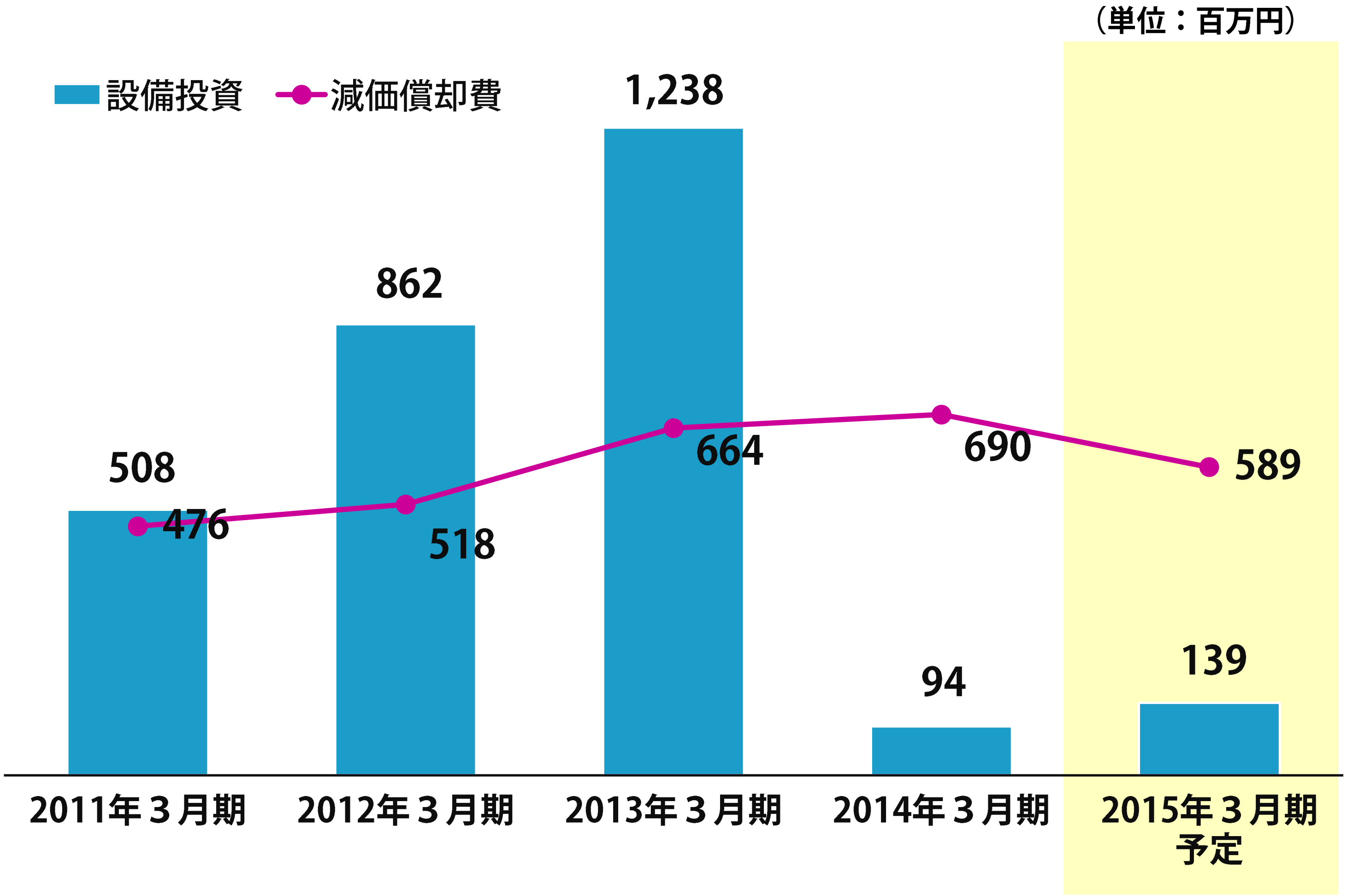
■ その他の電子部品

（対前年度比△47百万円）

インダクタの生産終了に伴い減少

設備投資及び減価償却

▶2015年3月期は、新製品の生産立ち上げを主に前期からの継続で既存ラインの生産性向上に絞り込んだ投資を行う



RIVER
One and Only Creator

変革に向けた今後の取り組み

第４次中期経営計画の策定（2014.4~2017.3）

経営ビジョン

「革新的技術を用いた最適価値の電子デバイスを世界に発信し、人々のくらしと生活環境の向上に貢献する」

１．革新的技術を創造する

リバーグループの企業DNAである「どこよりも小さく、どこまでも小さく」、可能性に挑戦し続けるという思想に基づき、革新的な技術を創造、確立し、新しい価値を提供する。

２．お客様のベスト・バリューを提供する

お客様が期待する価値を的確に捉え、お客様に満足いただける価値を提供し、常にお客様に信頼されるパートナーとなる。

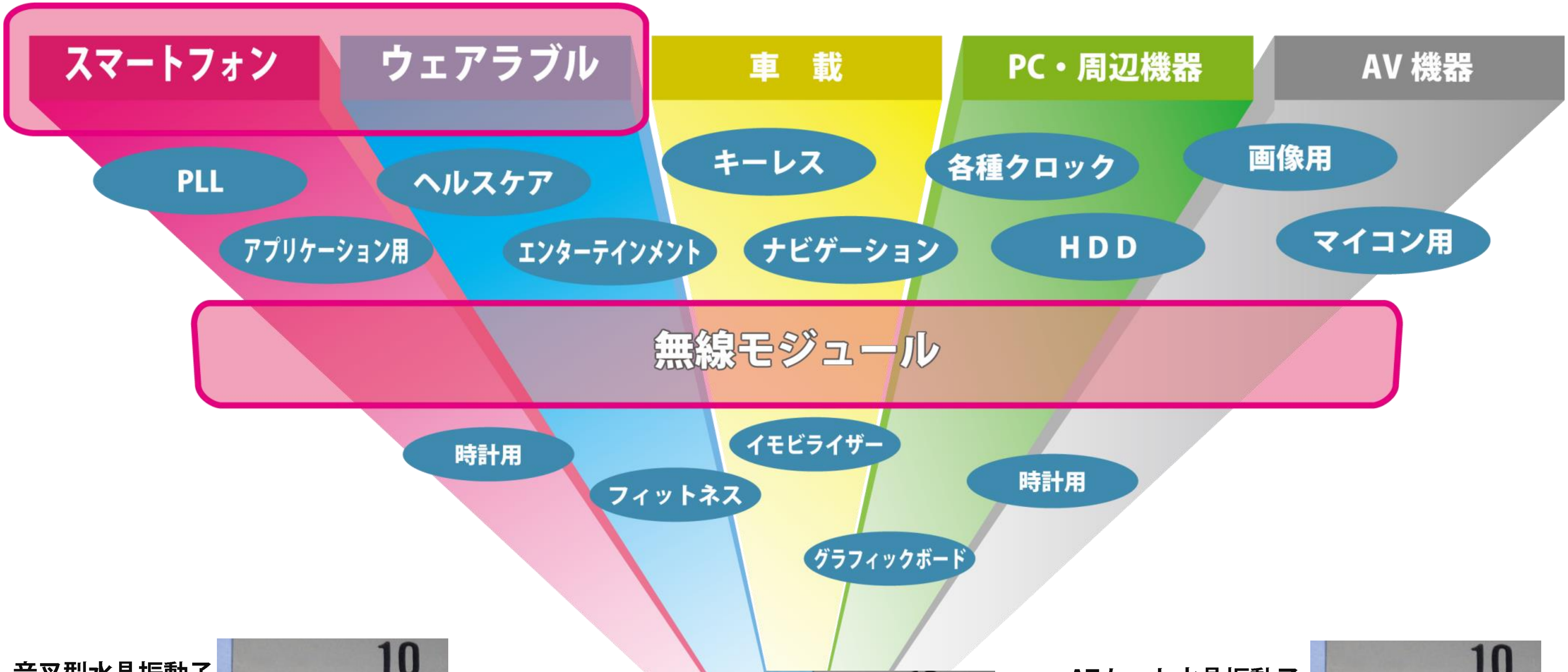
３．グローバル企業へ変革する

世界を活躍の場とし、環境に優しく、豊かで快適なデジタル社会の実現に貢献する。

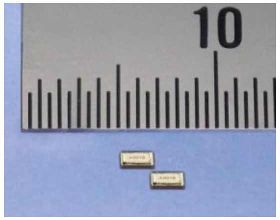
定量目標	2017年３月期　連結営業利益率３％以上

重点市場

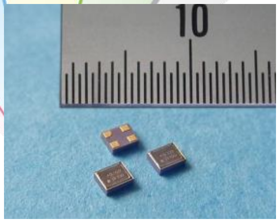
無線モジュール、ウェアラブル向けの新規開拓を進め、
スマートフォン偏重リスクの低減を図る



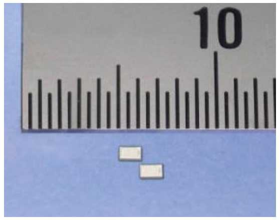
音叉型水晶振動子
TFX-04
（1610サイズ）



ATカット水晶発振器
FCXO-06T
（2016サイズ）



ATカット水晶振動子
FCX-08
（1210サイズ）



スマートフォン市場におけるシェア確保

RIVER
One and Only Creator

▶低価格モデルが主流となり、新興国を中心に成長

■ハイエンドモデルも成長鈍化傾向にあるも買い替え等の需要もあり、成長は持続的

■スマートフォンの低価格化に対する対策が必要

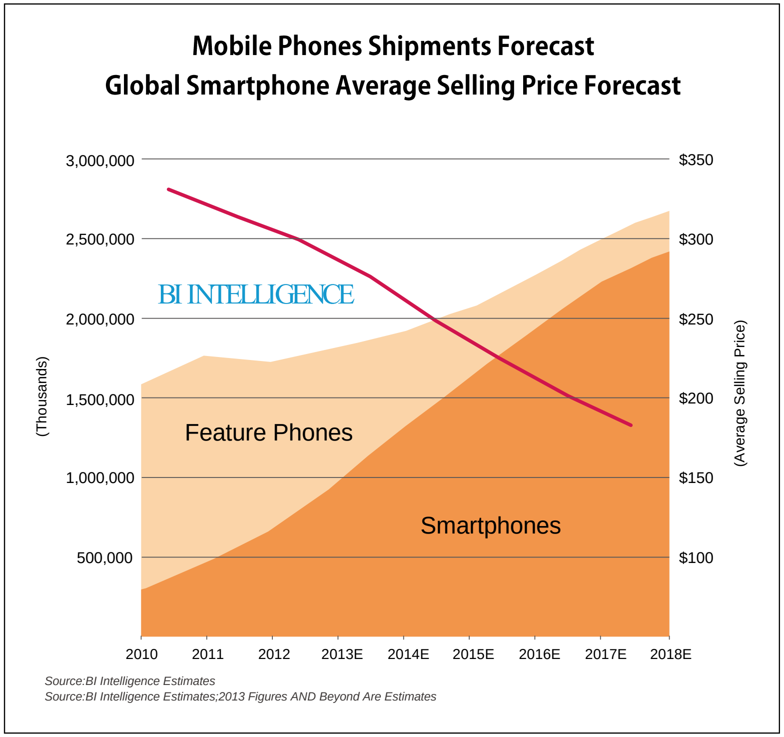
■主要半導体メーカのレファレンスデザインに採用されることが重要

ハイエンドモデル

最先端の超小型・薄型デバイスを提供

ミドル＆ローエンドモデル

新設計のコストパフォーマンス品を提供



ウェアラブルデバイス市場への注力

RIVER
One and Only Creator

▶電子部品の小型（軽量）化、省電力化が求められている

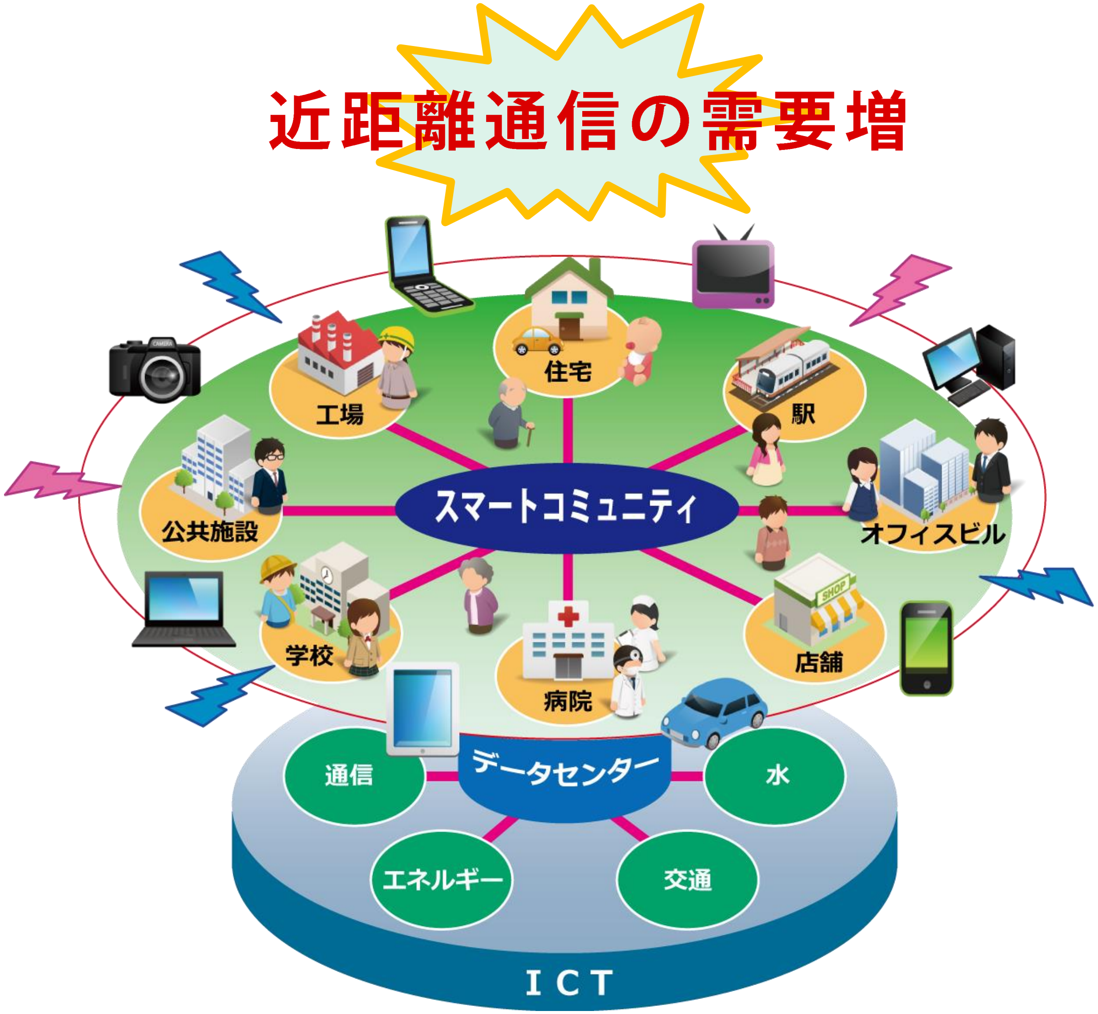
■用途やデザインなど多岐にわたるため、汎用化されにくく、多くの企業がビジネスチャンスととらえており、最新の情報をしっかりとキャッチアップしていく

当社の強みを生かし、新規領域を開拓していく

スマート社会化による無線通信市場への注力

RIVER
One and Only Creator

▶ICT（IoT）の発展により、ヒト／モノ／データがつながりあう時代になっていく



注目分野

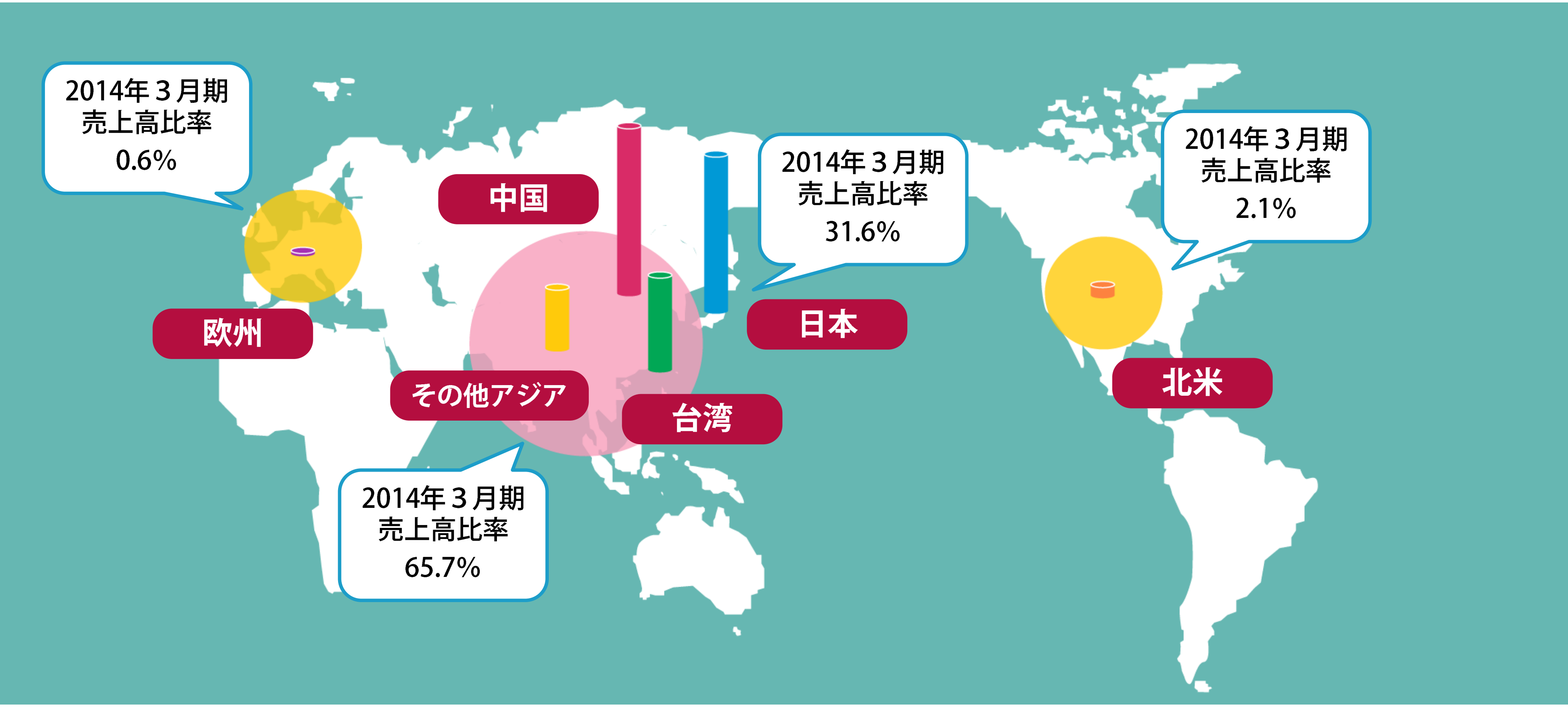
エネルギー	スマートグリッド HEMS/BEMS/FEMS
交　通	スマートナビゲーション スマートモビリティ
ヘルスケア	医療 ライフログ

地域戦略（アジアからグローバルへ）

RIVER
One and Only Creator

▶最重要地域の更なる深耕と活動地域の拡大

■デザインイン活動が中心となっている北米等についてもマーケティング活動と販売網の拡充を図る



トータル品質の追求

RIVER
One and Only Creator

トータル品質で稼ぐ

顧客満足の向上
⇓
売上高の増加

ムダなコストの削減
⇓
収益力の向上

■開発・設計段階での品質を高め、製造、検査段階における仕損じを削減する（欠陥コストの最小化）

■歩留り向上を在庫の削減、リードタイムの短縮につなげる（不動在庫の撲滅）

製品品質を
開発・設計段階
からつくりこむ

新たな価値をお客様に（新製品情報1）

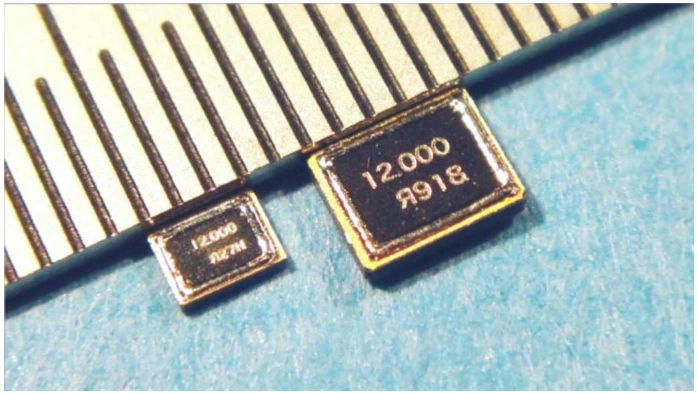
▶1612サイズのGTカット水晶振動子の開発

低周波での小型低背化、高精度・省電力といった時代のニーズに対応

■特徴

・ATカットでは実現困難な低周波数帯の超小型低背サイズに対応
（対応予定周波数：8MHz～20MHz）

	実装面積	パッケージ体積
GTカット水晶振動子（1.6×1.2×0.33㎜）	約1.9㎟（62% Down）	約0.63㎣（75% Down）
ＡＴカット水晶振動子（2.5×2.0×0.5㎜）	5.0㎟	2.5㎣



ATカット水晶振動子FCX-05（写真右）
とGTカット水晶振動子（同左）

・広い温度範囲での周波数安定性

・低消費電力での駆動が可能

■用途

・従来のATカットでは対応困難な機器のクロック用途

新たな価値をお客様に（新製品情報2）

RIVER One and Only Creator

▶基本波で300MHz以上の高周波に対応可能な Lamb波共振子の開発

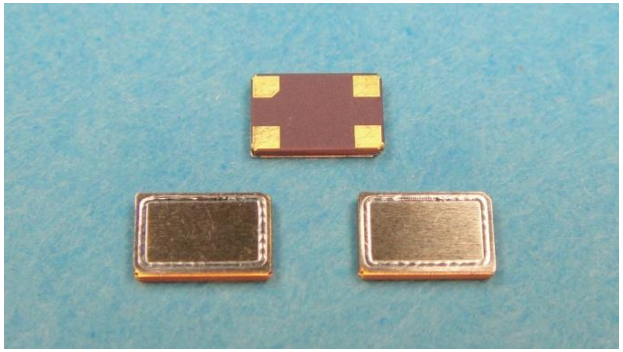
■特徴

- Lamb波振動モードを採用
- 高品質な高周波発振
- 良好な温度特性

■今後の予定

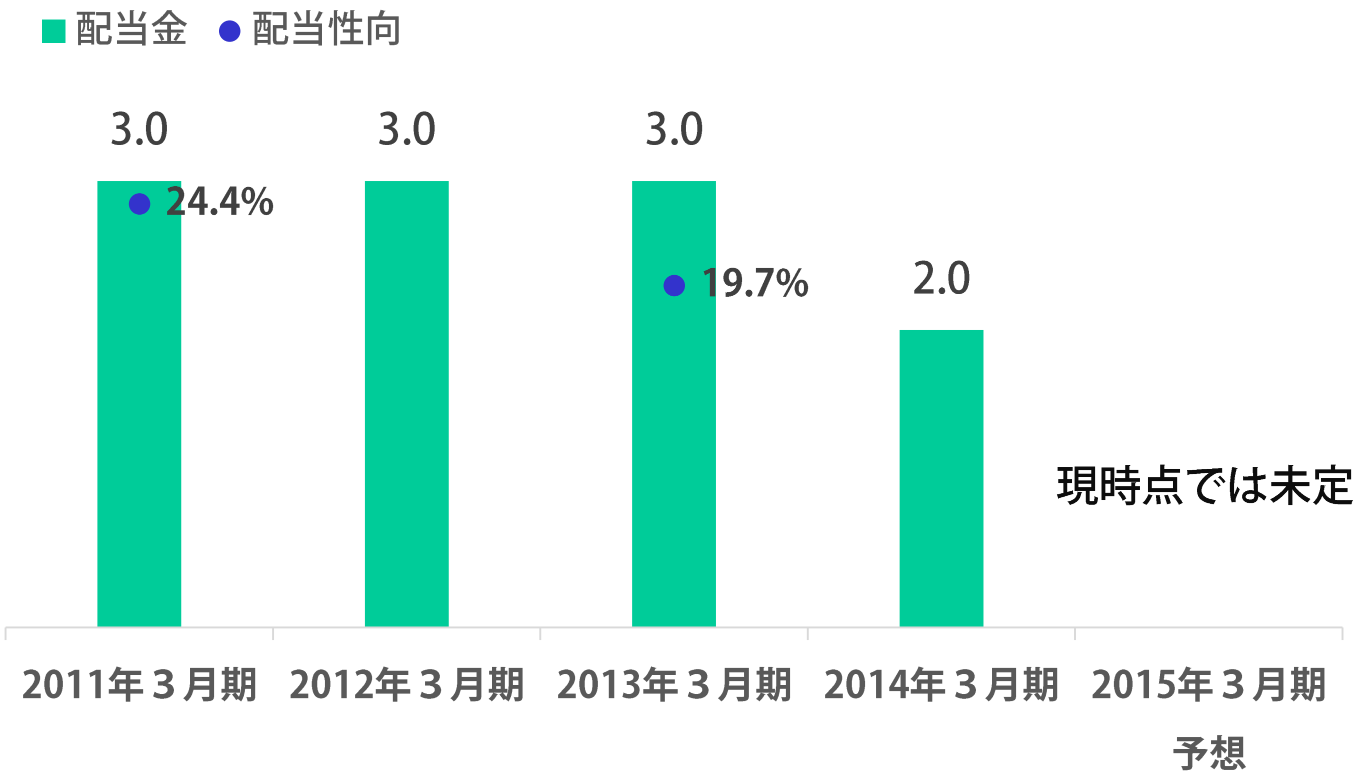
- 433.92MHzより、順次、サンプル出荷に対応。
- 従来のATカット水晶振動子、SAW共振子では実現困難な“高品質な高周波発振” “より広い温度範囲での周波数安定性”を要する様々な機器のクロック用途として、周波数ラインアップの拡充を進めていきます。

	Lamb波共振子	SAW 共振子	水晶発振器 (PLLによる逓倍)
常温偏差	◎	△	◎
周波数温度特性	◎	△	◎
経時変化	◎	○	◎
ジッタ特性	◎	◎	△
位相雑音	◎	◎	△
高周波化	◎	◎	◎



配　当

▶2015年３月期については今後の業績等を総合的に勘案して決定



RIVER
One and Only Creator

«注意事項»

本資料に記載されている当社の業績見通し、計画、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関係する見通しです。これらは現時点で入手可能な情報に基づき当社の経営者が判断したものであり、リスクや不確実性を含んでいます。 従いまして、これらの業績見通しのみに依拠して投資判断を下されることは、お控えいただきますようお願いいたします。